

2026年12月期 第1四半期決算サマリー

ハイライト

メディア事業の売上回復。
赤字拡大も一過性費用の影響調整後はQoQで利益横ばい

主に一過性費用27百万円の
計上に伴って

増収減益（赤字幅拡大）

●売上高

384百万円

QoQ

+8.8%

●営業利益

△**72**百万円

QoQ

赤字幅拡大

1Q売上高はQoQで微増

メディアは売上増加も、
IP & コマースが売上減少

ポイント

メディア事業

メディア共創企画の一部顧客のインシデントによる一時的な売上減から売上回復

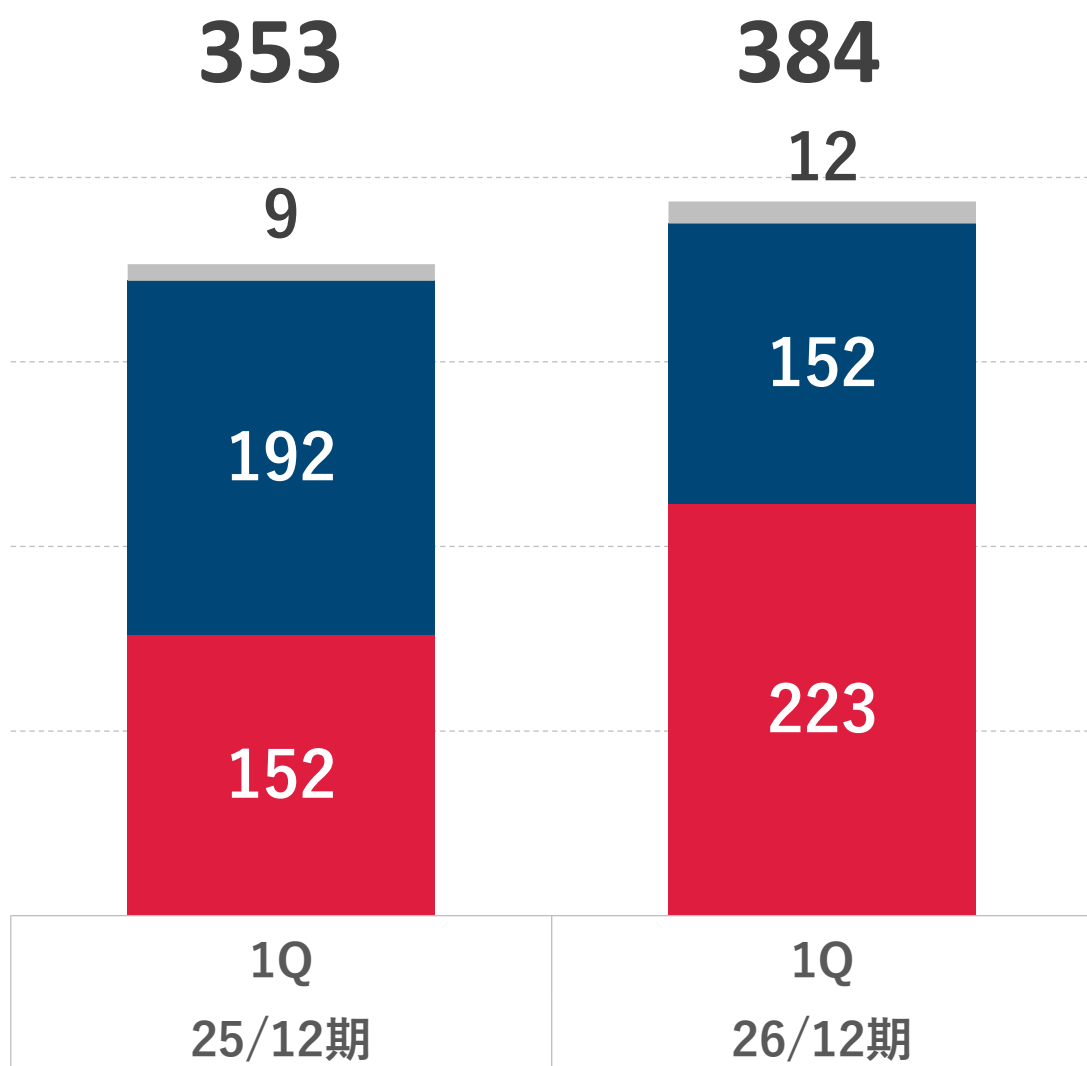
IP&コマース事業

Jリーグのシーズンカレンダー変更の影響により、musica labの売上減

QoQ +8.8%

(百万円)

■ その他 ■ IP & コマース事業 ■ メディア事業



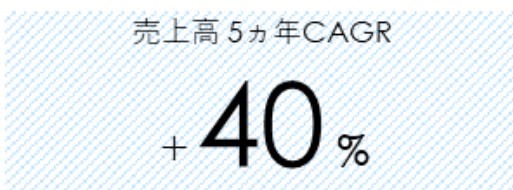
注：26/12期1Qについては、グラフ外に調整額△2が存在している点に留意されたい。

“新中長期経営方針”

時価総額100億円超の定着を
大目標に、30/12期までの5カ年
で売上高「CAGR + 40%」、営業
利益率「10+%」を実現する。

2030年までに
時価総額 **100億円超** の定着を実現

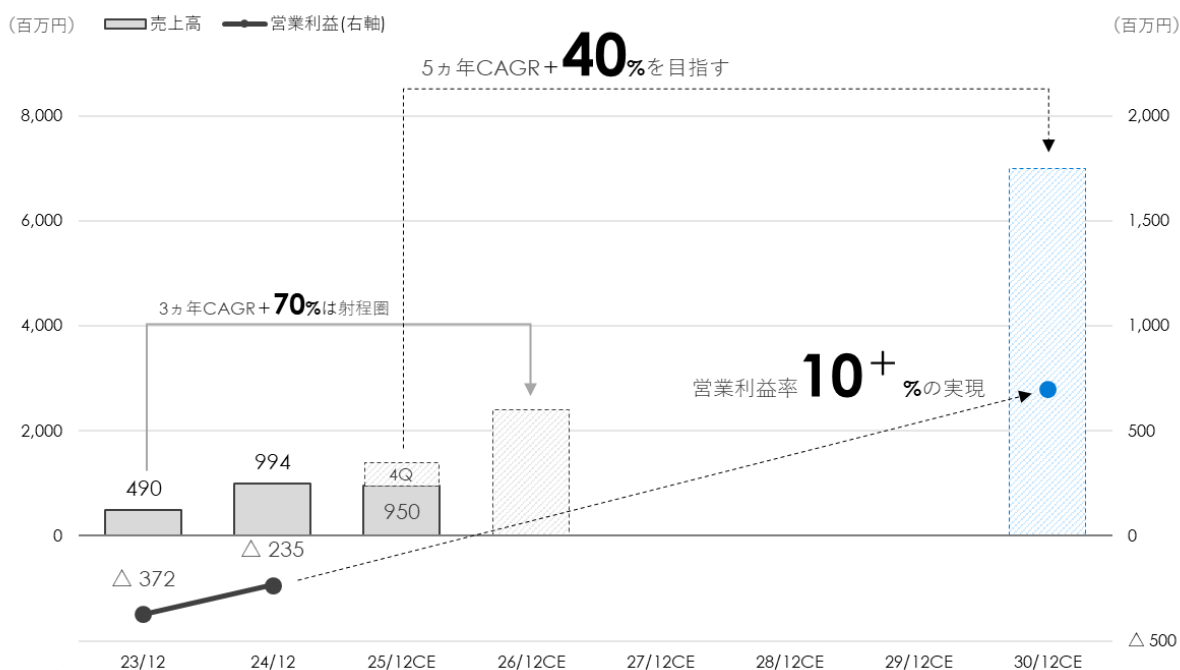
財務目標



事業目標



事業コンセプトは、日本国内の眠れるアセットを再活用し、ひと・まち・文化がめぐる新たな経済循環を創出するとした。



前 中期経営方針

新 中長期経営方針

※ 前 中期財務目標は取り下げず、その延長線上として、新中長期経営方針をアドオンする

4月より新たな執行体制へと移行。 AIソリューション事業とIP&コマ ース事業を中心に事業を加速する

AppBank株式会社



代表取締役会長

町田 央衡



代表取締役社長

白石 充三



執行役員副社長

稲田 光造



取締役

萩原 一禎



取締役

中村 智広

子会社

musica lab株式会社

代表取締役社長

萩原 一禎

株式会社PWAN

代表取締役社長

黒佐 誠

本資料の取り扱いについて

- 本資料の作成に当たり、当社は当社が入手可能な統計等第三者情報についての正確性や完全性に依拠し、前提としていますが、その正確性あるいは完全性について、当社は何ら表明及び保証するものではありません。
- 発表日現在の将来に関する前提や見通し、計画に基づく予想が含まれている場合がありますが、これらの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその達成を約束するものではありません。
- 当該予想と実際の業績の間には、経済状況の変化やお客様のニーズ及び嗜好の変化、他社との競合、法規制の変更等、今後のさまざまな要因によって、大きく差異が発生する可能性があります。

詳細は決算短信及び決算説明資料
(PC版) を参照ください